

## 田中地区地域づくりの会設立までの活動経緯

田中地区地域づくりの会は、自分たちの地域（田中地区）の課題解決や将来像の実現を図る新たな地域づくりを目的に、平成27年6月に「田中地区地域づくりの会設立準備会（「準備会）」を立ち上げ、計13回の会議を重ね、区長はじめ各種団体のご理解のもと、設立に至りました。

（※この取り組みは、小学校区単位の地域づくりと言われるもので、市内5地区で行われています。）

### 1 生涯学習まちづくり田中地区推進協議会の再編成を決定（平成27年5月）

平成27年度東御市生涯学習まちづくり田中地区推進協議会（「協議会」）の総会（H27.5.25開催）において、生涯学習推進員から「協議会の今後の在り方についての提言書（次ページのとおり）」が示されました。その結果、沈静化している本協議会を再編成し、生涯学習の普及だけでなく、子育て、商工観光、福祉、健康、環境などあらゆる分野で、関係団体とともに、地区の地域づくりを实践できる新たな体制をつくる提案が、承認されました。

### 2 田中地区地域づくりの会設立準備会の発足（平成27年6月～）

協議会の決定を受け、地区内の住民の皆さんや各種団体が連携し、区や団体の枠を超え、自分たちの地域（田中地区）の課題解決や将来像の実現を図る「新たな地域づくり組織」の設立を目的とした準備会が発足しました。

※準備会委員

正副区長会長、分館長会長、青少年育成協議会長、田中小学校PTA会長、田中小学校長  
民生児童委員協議会長、商工会田中支会長、生涯学習推進員 以上15名

### 3 田中地区の地域ビジョンの作成（平成27年7月～）

準備会の取り組みのスタートとして、田中地区の将来像や夢を住民の皆さんで共有するための「地域ビジョン」の作成をはじめました。

10月 田中地区の将来を考えるワークショップの開催（地域住民約80名が参加）

12月 将来像に対する区民意見の取りまとめ（全戸に将来像の「素案」を回覧）

2月 将来像を推進するための体制の検討（参画していただきたい団体等の検討）

3月 地域ビジョン冊子の印刷と全戸配布（H28.4.1）

新たな地域づくり組織「田中地区地域づくりの会（仮称）」の組織構成の検討

「田中地区地域づくりの会（仮称）」の規約（案）の検討

※準備会委員に各区長にも加わっていただきました。（H28.1～）

### 4 推進組織の発足準備（平成28年4月～）

新たな地域づくり組織「田中地区地域づくりの会」の発足に向けての準備を開始しました。

① 参画していただきたい団体等への説明会の開催（H28.4.27開催、42名出席）

② 専門部会を開催し、正副部会長の選出及び部会毎の課題や抱負等について協議  
（H28.5.20開催、45名出席）

③ 団体等の代表者以外の委員（区長推薦者、有識者）及び役員の人選、規約・事業計画・予算（案）等の作成

### 5 新たな地域づくり組織の発足（平成28年8月～）

新たな地域づくり組織「田中地区地域づくりの会」の発足

① 設立総会の開催（H28.8.24開催）

② 将来像実現のための取り組みの検討と事業の実施等

## ※『協議会の今後の在り方についての提言書（抜粋）』

### 1 はじめに

協議会は、地区内の各種団体が参画し、地区住民が自主的に生涯学習まちづくりの普及、推進を図ることで、地域を活性化することを目的に平成5年に発足しました。しかし、20年が経過し、「推進方法がわからない」、「取り組みにくい」などの理由から活動は沈静化しています。また、一方で、まちづくりの考え方も、「市民が主役のまちづくり」へと変化し、市民自らが主体となって地域課題の解決や地域の将来像を考え実現するための取り組みが進められるようになってきました。

### 2 協議会の課題

- ①情報交換が主な内容となっている
- ②生涯学習まちづくりの取り組みができていない
- ③継続した議論や取り組みができない
- ④行事も固定化
- ⑤共通の課題が持てない

### 3 地域の課題

#### (1) 地区の課題

- ①団体によっては、同様な事業を行っている
- ②形骸化している（無駄な）会議が多い
- ③地区全体のまちづくり（課題や将来）について話し合う場がない
- ④地区の課題を共有できない（把握できない、解決できない）
- ⑤地区全体で、協働で何かを取り組むことができない（新たなイベント）
- ⑥各種団体の役員任期が単年で、継続した事業の取り組みが困難である

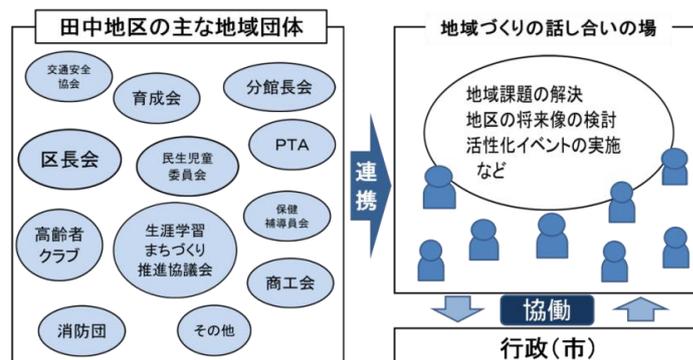
#### (2) 区の課題

- ①少子高齢化（出生率の低下、子ども達が戻って来れない地域環境）
- ②役員等の担い手不足
- ③行事等への参加者が減っている
- ④近所付き合いの希薄化
- ⑤区長の任期が単年で、継続した事業の取り組みが困難である
- ⑥区の課題を捉える事ができない（区だけでは課題に気づかない、対応を考える事ができない）

### 4 協議会の新たな体制の検討

このように、協議会や地域には、様々な課題があります。そのため、これからの協議会は、これらの課題を解決するとともに、本来のまちづくりである、市民が主体となって地域課題の解決や地域の将来像を考え実現するための取り組みを進めていくことが必要だと考えます。

そこで、協議会を再編成し、生涯学習の普及だけでなく、子育て、商工観光、福祉、健康、環境などあらゆる分野で、関係団体とともに、地区の地域づくりを実践できる体制を検討しました。



#### ★新たな体制で何をするのか

- ①区や団体だけでは解決できない課題を解決する
- ②田中地区としての一体感を醸成する
- ③効果的、効率的な事業を行うため、各種団体が連携する
- ④お互いに情報交換、情報共有を行い、それぞれの活動を参考にする
- ⑤多くの住民が共感でき連携できる新たな事業を考え、実施する
- ⑥これまでの事業を継承し、足りないところを補完し合う
- ⑦協議会に参加する委員が役割を実感できる体制をつくる